

国際規格の標準化機関

社団法人 日本鉄道車輛工業会
宗像 政美

国際規格の標準化機関には次の3機関があり、いずれも各国の代表的な標準化機関から構成しています。

ISO:International Organization for Standardization 国際標準化機構
IEC:International Electrotechnical Commission 国際電気標準会議
ITU:International Telecommunication Union 国際電気通信連合

ISO/IECとITUでは、その性格が異なります。

ISOとIECは、国際貿易の円滑化と促進のための国際規格の制定を目的としています。一方、ITUは国際的な電気通信網やサービスの確立及びその運営の調整を目的としています。このため、ISO/IECが非政府間機構に対し、ITUは政府間の国際機関となっています。

ITUは鉄道分野の国際規格は発行していないので、ITUを除いた2標準化機関の概要を表1に示します。尚、ISOとIECの規格番号は、1～59999がISO規格に割り当てられ、60000～79000がIEC規格に割り当てられ、80000台は共通の開発国際規格が対象となっています。

表1 ISOとIECの概要

	ISO	IEC
設立の経緯	1928年国際規格統一協会(ISOの前身)設立 1947年ISO設立	1875年国際度量衡局(IECの前身)設立 1906年IEC設立
日本の加盟	1952年	1953年
加盟国	148ヶ国(2004年1月現在)	62ヶ国(2004年1月現在)
目的	製品やサービスの国際協力を容易にし、知的、科学的、技術的及び経済的活動分野における国際間の協力を助長するために世界的な標準化及びその関連活動の発展促進を目指す。	電気及び電子の技術分野における標準化のすべての問題及び関連事項に関する国際協力を促し、これによって国際的意思疎通を図る。
中央事務局	ジュネーブ(スイス)	ジュネーブ(スイス)
国際規格案の 制定・改正部門	TC(Technical Committee/専門委員会):188 SC(Sub-Committee/分科委員会):546 WG(Working Group/作業グループ):2,224	TC:90 SC:84 WG:521 MT(Maintenance team/メンテナンスチーム):256 PT(Project team/プロジェクトチーム):113
	JTC(Joint Technical Committee/ISO・IEC合同専門委員会) TC:1, SC:18, WG:70 JTC1は、情報技術分野の標準化推進に対するニーズの増大に応え、1987年11月にISOとIECの合同委員会として設置され、幹事国はアメリカ、日本の審議団体は(社)情報処理学会である。	